



**2026年3月期 決算短信 補足資料**  
**(2025年4月～2026年3月)**

**2026年5月14日**



**STANDARD**  
TOKYO  
証券コード:1905

会社概要	3～4ページ
2026年3月期 決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)	10ページ
2027年3月期の業績予想(連結)	11ページ
2027年3月期の連結売上高予想	12ページ
2027年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2022年3月期～)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2022年3月期～)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

## 経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、  
建築・土木構造物をお使いになれる全ての人々に、  
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、  
お客様のご要望にお応えしてまいります所存であります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 若尾 直
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 224名 (連結) 384名 ※2026年3月31日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター・試験研究室) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社：国内) (株)テノックス技研、(株)広島組、大三島物産(株) (非連結)、(株)複合技術研究所 (連結子会社：海外) TENOX ASIA COMPANY LIMITED (ベトナム) (持分法適用関連会社) ジャパンホームシールド(株)

グループ会社名	事業内容
(株)テノックス (当社)	<b>基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売</b> <b>〔主な工法〕</b> <b>杭工法</b> : CP-X工法、TN-X工法、TN工法、 ガンテツパイル工法、NSEコパイル工法、 ATTコラム工法、 <b>地盤改良工法</b> : テノキューブ工法、テノコラム工法、 格子状地盤改良工法(液状化対策)、 ピュアパイル工法
(株)テノックス技研	(株)テノックスの基礎工事の施工及び機材の賃貸
(株)広島組	基礎工事の施工
大三島物産(株) (非連結)	基礎工事の施工
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等
ジャパンホームシールド(株) (持分法適用関連会社)	地盤工事事業、地盤ソリューション事業、建物ソリューション事業

# 2026年3月期 決算の概要(連結)



- 売上高:「北海道新幹線延伸事業」の杭工事のピークアウトに伴い減少
- 利益 :売上高は減少するも、施工効率の向上や契約条件の最適化などが寄与し、利益は増加

■売上高	210億93百万円	前期比 $\Delta$ 26億23百万円 ( $\Delta$ 11.1%) ✓主に「北海道新幹線延伸事業」の杭工事が減少
■営業利益	12億89百万円	前期比 +1億74百万円 (+15.6%) ✓主に施工効率の向上や契約条件の最適化などの取り組みによる
■経常利益	13億31百万円	前期比 +1億67百万円 (+14.4%) ✓主に営業利益の増加による
■親会社株主に帰属する 当期純利益	9億39百万円	前期比 +1億90百万円 (+25.4%) ✓主に経常利益の増加による
■受注高	173億3百万円	前期比 $\Delta$ 37億89百万円 ( $\Delta$ 18.0%)
■受注残高	65億68百万円	前期末比 $\Delta$ 31億74百万円 ( $\Delta$ 32.6%) ✓主に「北海道新幹線延伸事業」の杭工事が減少

# 連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2025/3	売上高 比率	2026/3	売上高 比率	前期比	
売上高	23,717	—	21,093	—	△2,623	△11.1%
売上原価	20,093	84.7%	17,094	81.0%	△2,999	△14.9%
売上総利益	3,623	15.3%	3,999	19.0%	+376	+10.4%
販売費及び 一般管理費	2,507	10.6%	2,709	12.8%	+202	+8.1%
営業利益	1,115	4.7%	1,289	6.1%	+174	+15.6%
経常利益	1,164	4.9%	1,331	6.3%	+167	+14.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	749	3.2%	939	4.5%	+190	+25.4%

# 連結貸借対照表の概要



- 資産:主に現金預金が減少も、投資有価証券などの増加により全体として増加
- 負債:主に支払手形・工事未払金等、未払消費税等が減少

(単位:百万円)

	2025/3末	2026/3末	前期末比	
流動資産	16,957	14,256	△2,700	△15.9%
固定資産	4,115	7,049	+2,934	+71.3%
資産合計	21,073	21,306	+233	+1.1%
流動負債	6,966	6,499	△467	△6.7%
固定負債	814	870	+55	+6.8%
負債合計	7,781	7,370	△411	△5.3%
純資産合計	13,291	13,936	+645	+4.9%
(自己資本比率)	(61.4%)	(63.7%)	(+2.3ポイント)	—

# 連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

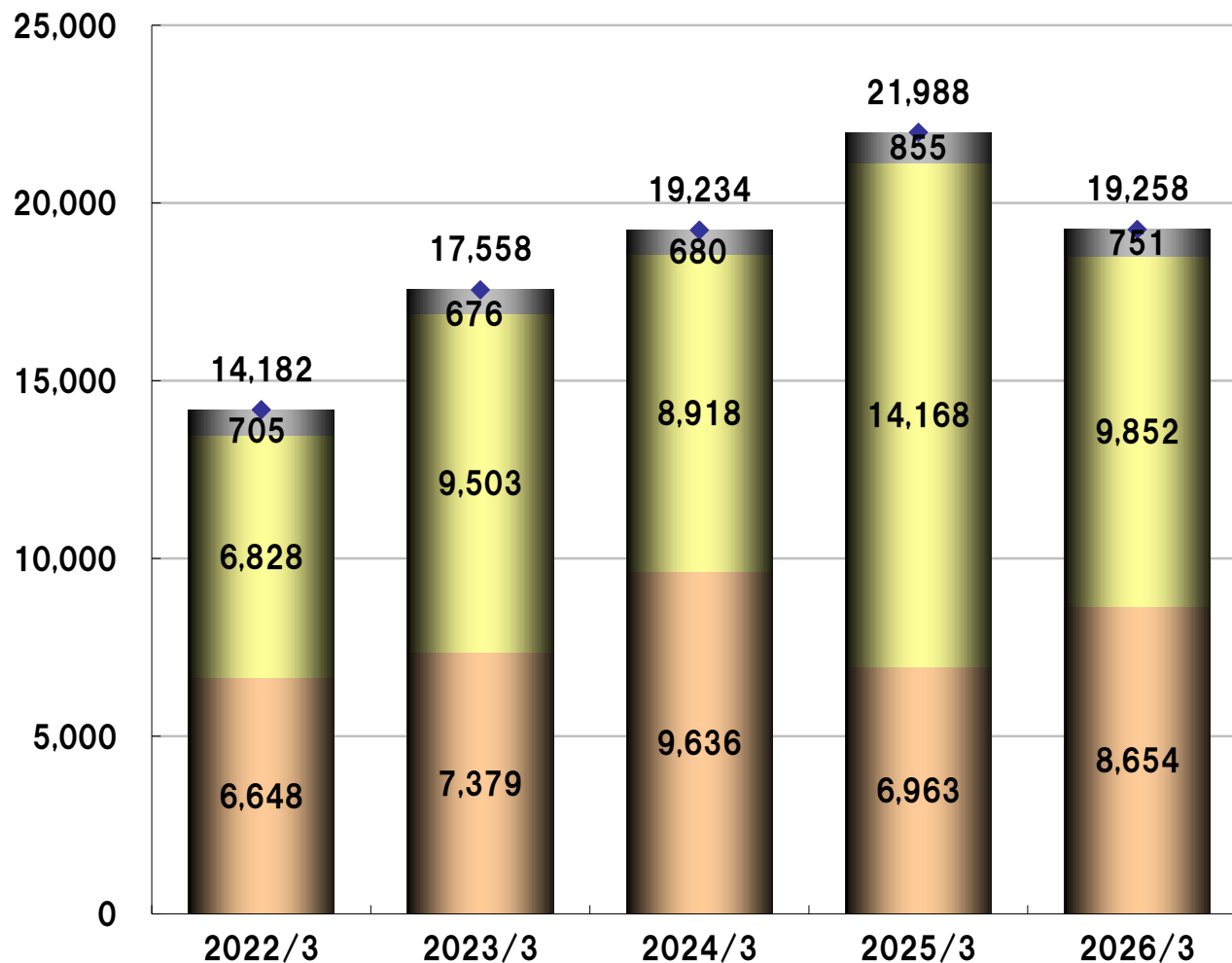
	2025/3	2026/3	当期の主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	+3,047	+1,417	法人税等の支払額 $\Delta 4$ 億76百万円 税金等調整前当期純利益 +13億47百万円 減価償却費 +5億97百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	$\Delta 792$	$\Delta 3,286$	投資有価証券の取得による支出 $\Delta 26$ 億13百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	$\Delta 301$	$\Delta 421$	配当金の支払額 $\Delta 3$ 億75百万円
現金及び現金同等物の 増減額	+1,855	$\Delta 2,357$	
現金及び現金同等物の 当期末残高	10,198	7,841	

# 売上高の推移(単体)



(単位:百万円)

■地盤改良工事 ■杭工事 ■その他 ◆計



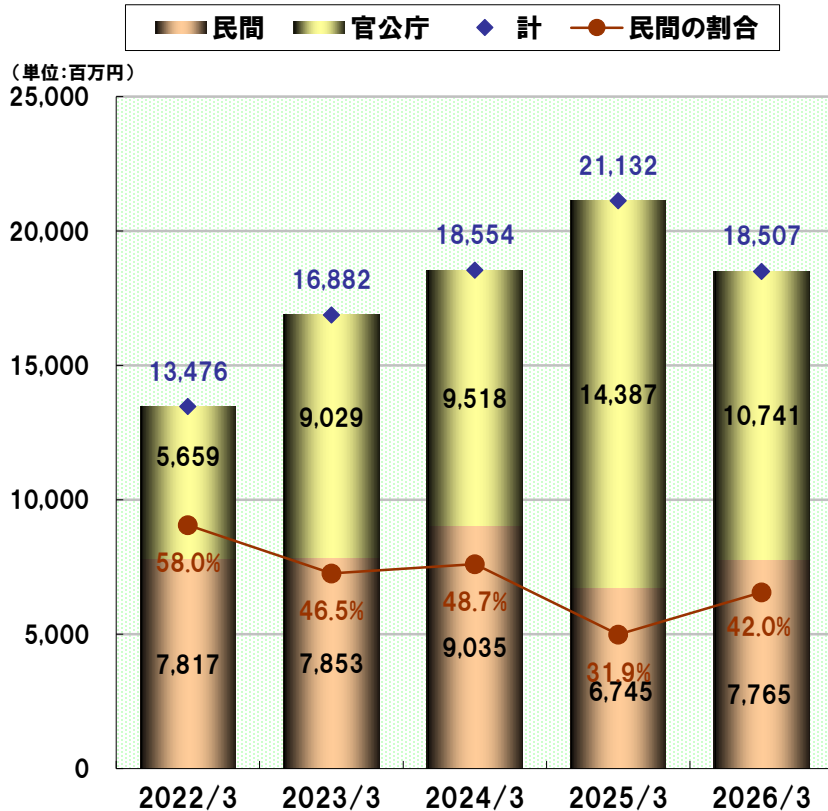
## 前期比 主な要因

- 杭工事:  
主に、「北海道新幹線延伸事業」が減少
- 地盤改良工事:  
主に、大型の工場や物流施設の工事が増加

# 売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)



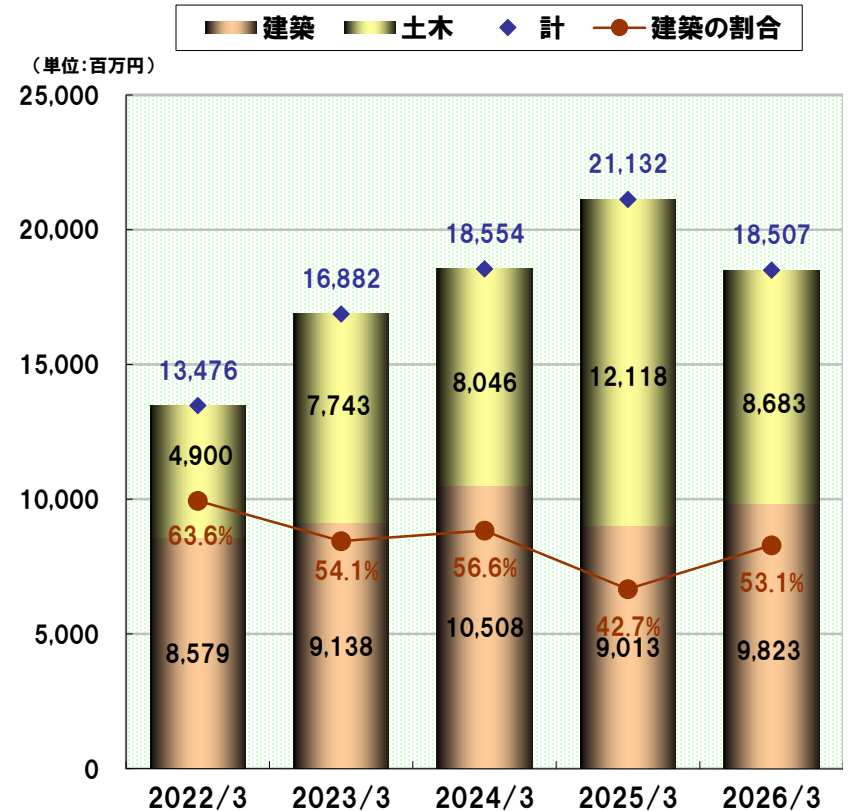
## 民間・官公庁の推移(単体)



### 前期比 主な要因

- 民間は、大型工場や物流施設の地盤改良工事が増加
- 官公庁は、「北海道新幹線延伸事業」の杭工事が減少

## 建築・土木の推移(単体)



### 前期比 主な要因

- 建築は、大型工場や物流施設の地盤改良工事が増加
- 土木は、「北海道新幹線延伸事業」の杭工事が減少

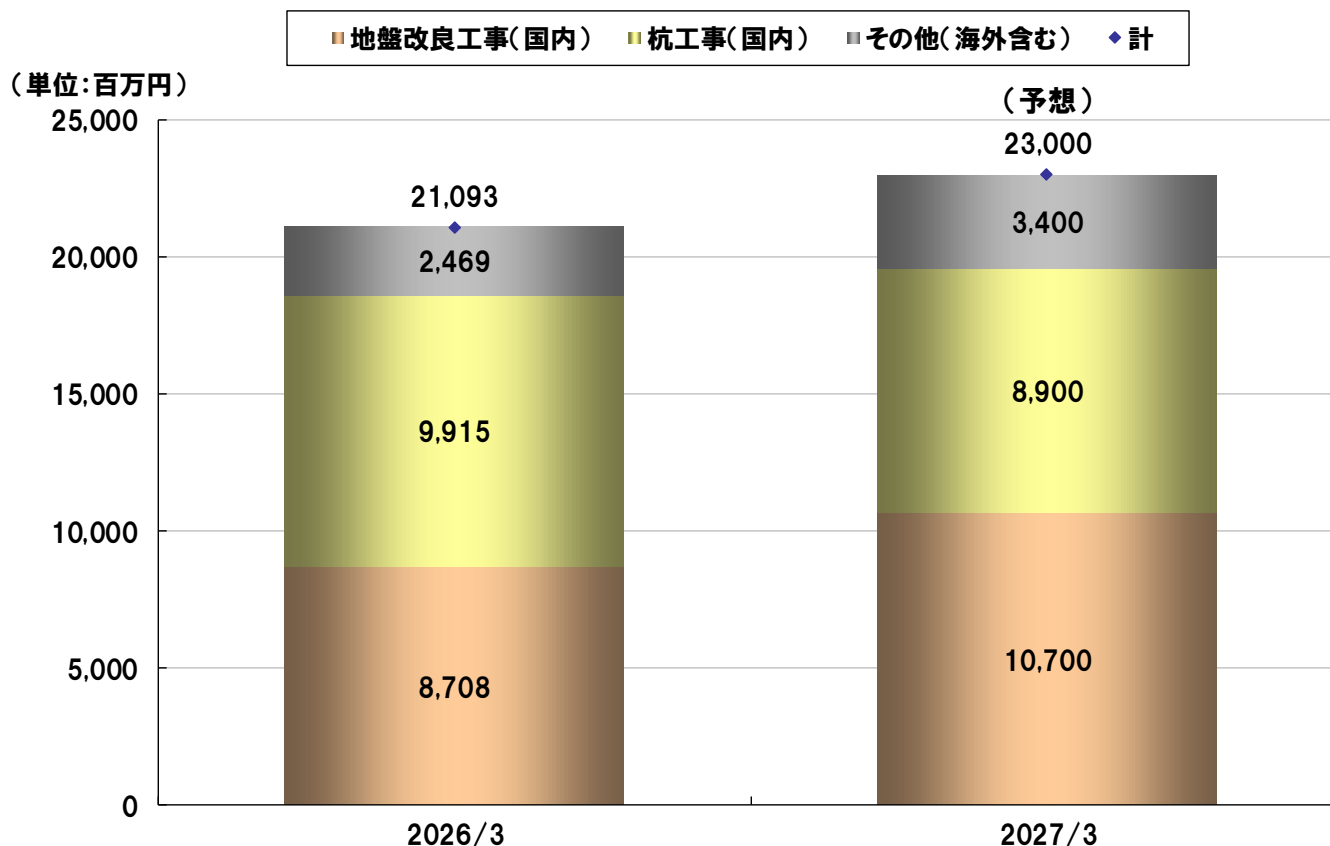
# 2027年3月期の業績予想(連結)



- 売上高: 土木は「北海道新幹線延伸事業」が減少する一方、建築は引き続き大型の物流施設や集合住宅などを中心に地盤改良工事が増加
- 利益 : 売上総利益率の若干の低下および本社移転の影響などにより、営業利益、経常利益は減少

■売上高	《予想》 230億円	前期比	+19億6百万円 (+9.0%)
■営業利益	《予想》 11.5億円	前期比	△1億39百万円 (△10.8%)
■経常利益	《予想》 13億円	前期比	△31百万円 (△2.4%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 10億円	前期比	+60百万円 (+6.5%)

# 2027年3月期の連結売上高予想



- **杭工事:**  
「北海道新幹線延伸事業」が減少
- **地盤改良工事:**  
主に、大型の物流施設や集合住宅などの工事が増加
- **その他:**  
海外事業が増加

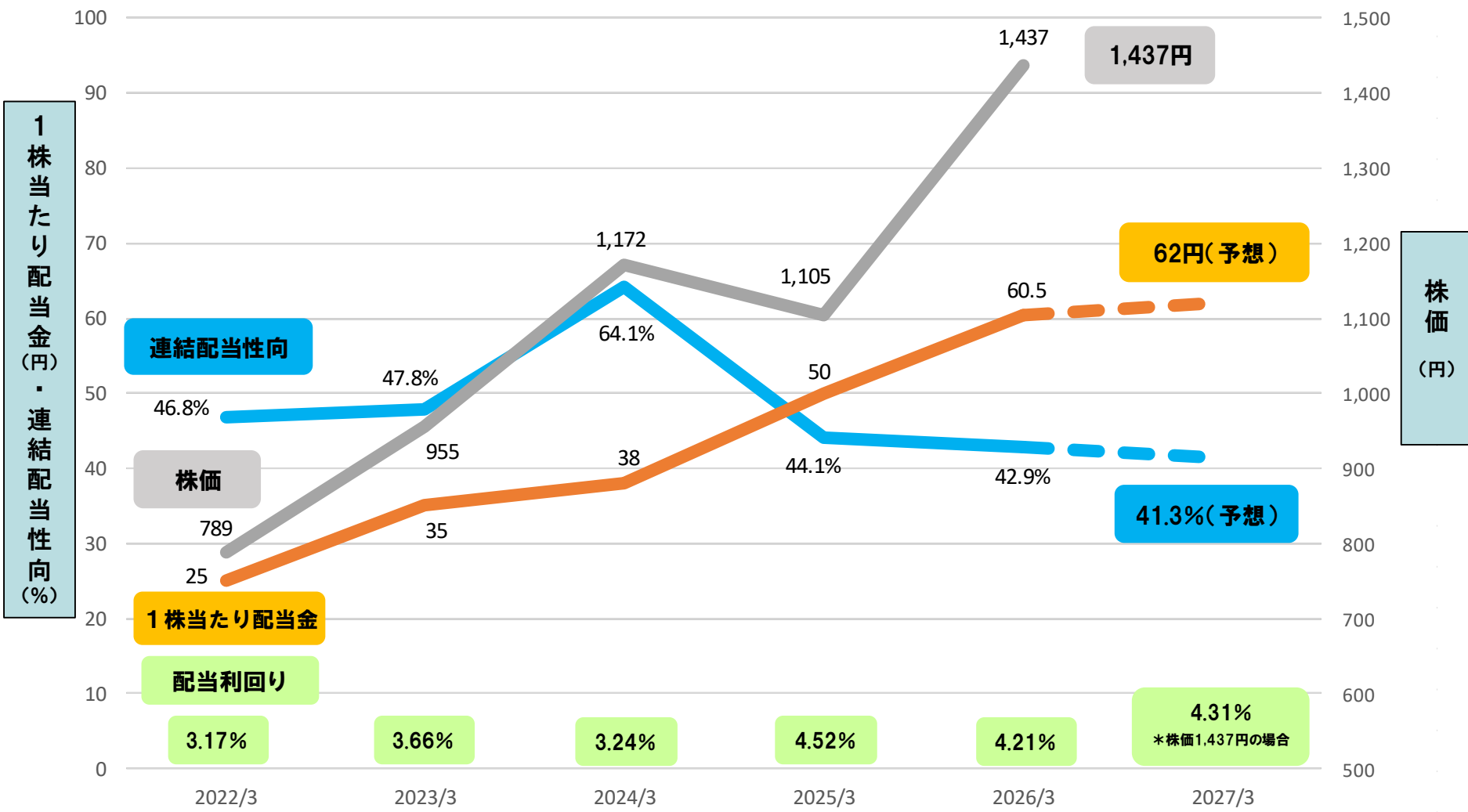
# 2027年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 6億16百万円	前期比 $\Delta 19$ 百万円 ( $\Delta 3.0\%$ ) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億円	前期比 $\Delta 13$ 百万円 ( $\Delta 2.6\%$ ) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 47百万円	前期比 $\Delta 20$ 百万円 ( $\Delta 30.4\%$ ) ✓ 主に研究所や大学との共同研究、新技術の開発
■従業員数	《予想》 228名	前期比 +4名

# (ご参考) 株価、配当金及び連結配当性向 (2022年3月期～)

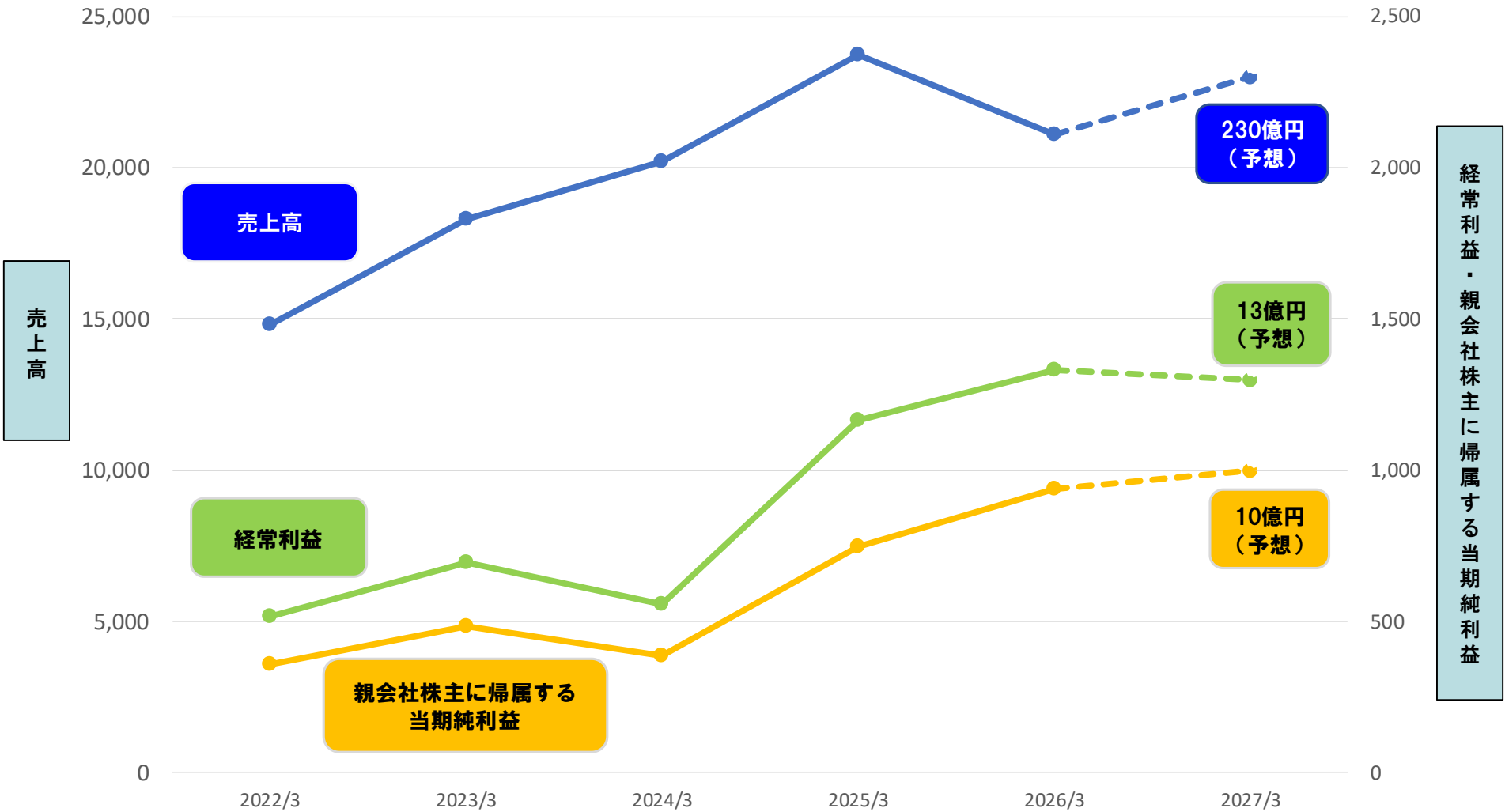


# (ご参考) 連結業績推移 (2022年3月期～)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



# (ご参考) 連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3 (予想)
売上高	20,441	20,774	18,583	15,906	14,817	18,317	20,207	23,717	21,093	23,000
売上原価	17,877	18,121	15,570	13,816	12,461	15,553	17,373	20,093	17,094	
売上総利益	2,564	2,653	3,012	2,090	2,355	2,764	2,833	3,623	3,999	
販売費及び 一般管理費	1,815	1,700	1,873	1,781	1,888	2,111	2,312	2,507	2,709	
営業利益	749	953	1,139	308	466	653	520	1,115	1,289	1,150
経常利益	785	1,010	1,179	331	516	694	557	1,164	1,331	1,300
(売上高 経常利益率:%)	(3.8)	(4.9)	(6.3)	(2.1)	(3.5)	(3.8)	(2.8)	(4.9)	(6.3)	(5.7)
税金等調整前 当期純利益	748	1,015	1,208	311	527	732	604	1,134	1,347	
親会社株主に帰属する 当期純利益	523	640	768	173	357	482	388	749	939	1,000
(売上高 当期純利益率:%)	(2.6)	(3.1)	(4.1)	(1.1)	(2.4)	(2.6)	(1.9)	(3.2)	(4.5)	(4.3)
	2018/3 期末	2019/3 期末	2020/3 期末	2021/3 期末	2022/3 期末	2023/3 期末	2024/3 期末	2025/3 期末	2026/3 期末	2027/3 期末(予想)
純資産	11,393	11,636	12,195	12,215	12,300	12,467	12,689	13,291	13,936	14,500
総資産	17,992	16,766	18,667	18,163	17,681	18,770	19,066	21,073	21,306	21,800

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

環境と共存し、確かな技術力で  
社会と暮らしを支える



ホームページ: <https://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画部 広報IRグループ

[https://www.tenox.co.jp/contact/contact\\_ir/](https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/)

電話:03-3455-7787